

# 令和元年度 保育教諭実施自己評価 報告

令和2年3月学年末実施

学校法人明学園 日高富士見台幼稚園  
日高こどもえん保育園

## 1、園の目標について

幼稚園 教育目標	保育園 保育目標
・仲良く助け合い、集団の中で生き生きと活動する子	・慈しみ家庭の心で保育する
・心を動かし、美しさを感じられる子	・心身ともに健やかな子に育てる
・頭を動かせ、身体をつかい工夫する子	・挨拶を大切にする子に育てる
・健康で明るく、運動力のある子	・心を動かし、美しさを感じられる子に育てる
・たくましく、物事をやり通す子	

→ 園目標について、理解し、保育に取り組めたか。

- ・園の目標として理解し取り組めた。常に目の届く場所に貼るなどして、今後も努めたい。
- ・取り組めた方である。毎日目標について考えている訳ではないが、当たり前の事として行ったり、声掛けや援助をしていたと思う。
- ・年少を担当し、子ども達の初めての集団生活が安心して送れる「環境づくり」、「声掛け」に努めた。また、挨拶は、自分がお手本となるよう「元気に、笑顔で」をいつも心がけ自然にできるようになった。
- ・家庭で育児をしている様な優しさと暖かさが子どもに伝わるような「声掛け」「動き」を心掛けた。
- ・それぞれの月齢に合わせて、園目標と同じように子ども達が育つように保育をしてきた。そして「第2の母親」になれるように、子ども達と信頼関係を築いていく事を大切にした。
- ・子ども達一人ひとりに対して安心して保育園で過ごせるように気持ちに寄り添い、耳を傾けて保育できるように心掛けた。毎日の積み重ねを大切に、信頼関係を築くように気をつけた。

## 2、本年度の重点目標

・子どもを首座においた保育を行う
・それぞれの発達を把握し、必要な援助を考える
・明るい笑顔を絶やさない保育に努める

→ 重点目標について、守って保育に取り組めたか。

- ・園児一人ひとりに寄り添い保育する努力ができた。
- ・共通理解をして、その子に合う援助を考えた。
- ・「笑顔を絶やさない」という点は欠けていたと感じる。
- ・気持ちに余裕を持つようにしていくべきだと思う。
- ・様々な特性を持つ子がいたため、その子に合った援助方法を探りながら試した。
- ・副担任の先生と共通理解を持ち、関りを統一することが大切だと感じた。
- ・発達段階をよく把握し、成長の度合いが遅れていたり個人差がある子どもに合った対応ができるように努めた。
- ・自分の担当するクラスは、成長発達の個人差が大きいため、個々の関わり方や援助を変化させてそれぞれに合うように工夫した。
- ・時間に追われ、子どもを首座に置けない時もあったが、笑顔を心掛けた。
- ・声掛けや関り方ひとつで子どもの気持ちが大きく変わるためクラス内で共有しながら保育をおこなった。

## 3、評価項目

・笑顔を忘れずに過ごす
・各学齢ごとに目標を立てて、自己評価と共にお互いに評価をする
・年間3期に分けて、評価期間を設け、集計を発表する

→それぞれの期の評価について、十分考え取り組むことができたか。

- ・他者の評価をすることで、言動を見ることができ、自分自身も見られていることを意識して気をつけることができた。
- ・「お互いに評価」という点は欠けていたが、他の先生を見て学ぶことができるので行うべきだと思う。
- ・お互いに評価することもあり、周りの先生保育にも意識して目を向けられた。
- ・保護者や子どもに、常に笑顔で対応できるように心掛けた。
- ・各自で行うだけでなく、クラスの先生達と話し合い、アドバイスを頂けた。改善点や継続すべき点を考え取り組めた。
- ・常に笑顔を心掛けた。クラス内の目標を一つ置くことで日々の保育にスムーズな連携が取れるようになった。

#### 4、今後取り組むべき課題

→今後取り組むべき課題をあげてください。

- ・保育向上のための園内研修や外部研修を増やす。
- ・何が必要なのか、やるべきことは何なのか、を考える。
- ・「報・連・相」の徹底。
- ・伝達時の表情や言葉の使い方。(話し方)
- ・知識不足、実践不足を克服していく環境づくり。(研修参加など)
- ・他者の手本となるような保育ができるように、自分の保育の見直しを行う。
- ・クラス内の職員の連携をスムーズにする。(報・連・相の徹底や引継ぎ帳の活用)